

【2】東諸県郡小体連（学校数 5校 児童数 1344名）

I 年間事業

日 程	事 業 内 容
令和3年 5月25日	第1回 東諸県郡小学校体育連盟役員会 (1) 役員選出 (2) 令和3年度事業計画について (3) 令和3年度研究について (4) 令和3年度水泳記録会について
令和3年 7月28日	第2回 東諸県郡小学校体育連盟役員会 (1) 令和3年度研究内容について (2) 令和3年度陸上記録会について
令和3年 10月22日	第3回 東諸県郡小学校体育連盟評議員会 (1) 令和3年度陸上記録会について
令和4年 1月24日	第4回 東諸県郡小学校体育連盟評議員会 (1) 体力向上を目指した今後の取組について (2) 次年度の計画

II 事業部のあゆみ

○ 水泳記録会について

以前、郡で実施していた水泳記録会は、昨年度より各校開催としていたが、昨年度と同様に今年度も、新型コロナウイルス感染症が流行したため、各校での記録会が実施できなかった。

○ 陸上記録会について

新型コロナウイルス感染症が流行したため、陸上記録会を昨年度は中止にしたが、今年度は各校開催に変更し、「50m障害走」と「ソフトボール投げ」の2種目に絞って実施した。

III 研究部のあゆみ

1 研究主題・副題

運動の楽しさに触れ、進んで体力向上に取り組もうとする児童の育成
～各学校の実態に合わせた体力向上の取組を通して～

2 主題設定の理由

昨年度より新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、臨時休業の期間があったことや外に出る機会が少なくなり、児童が体を動かす機会が減少していることが考えられる。そのため、東諸県郡に限らず、児童の体力低下が懸念される。

さらに、東諸県郡の各小学校では新体力テストの結果が県平均を下回っている項目が多く、体力向上が喫緊の課題となっている。児童は、体育の授業や休み時間での外遊び等を通して運動する機会があるものの、放課後に習い事がある、近隣に公園、運動施設がない、家が遠いために友達同士の遊びが少ない等運動に親しむ環境が整いにくく、学校によってはスクールバスや自家用車での登下校で日常的に運動する機会が少ない実態がある。

そこで、研究主題を「運動の楽しさに触れ、進んで体力向上に取り組もうとする児童の育成」と設定し、各学校の実態に応じて体力向上の取組を行った。児童一人一人が無理なく体を動かし、運動する楽しさや目標を達成できたときの喜びを味わうことで、体力向上へつながるのではないかと考え本主題を設定した。

3 研究の内容

運動の楽しさに触れながら、進んで体力向上に取り組むことができ、投の動作の向上のために、郡内各小学校において、メンコ遊びに取り組んだ。

4 研究の実際

(1) メンコ遊び



【投げ方のコツ・手作りメンコの作り方・遊び方（注1）】

各小学校の体育主任から、投げ方のコツ、手作りメンコの作り方・遊び方について資料（注1）を配付し、学校全体でメンコに取り組む際の参考にしてもらった。各小学校において、メンコ遊びのコーナー・スペースを設け、自由に遊ぶことができる場所を設定した。自由に遊ぶことができる場所を設定することで、児童が自発的に取り組むことができるようにした。それらの場所の設定については、各小学校の実態に応じて室内・屋外に設定した。取組を行う中で、児童の投げるフォームを継続して観察し、フォームの変容を見た。

最初全然できなかった児童が、投げ方のコツをつかみフォームが上達している姿が見えた。また、メンコで裏返すことができるようになった児童は、達成感を味わっていた。達成感を味わうことで、その後のメンコ遊びにも積極的に取り組むことができていた。

昼休みに教室で過ごしがちな児童についても、メンコの体験を通して、ボール運動を進んで行うようになった。

さらに、自由に遊ぶことができるスペースを作ることで、異学年で交流し合いながら楽しんでいた。筋力や身長・体重など身体的な差があるものの、コツをつかむことで学年を越えて、競い合う姿も見られた。



【屋内での取組の様子】

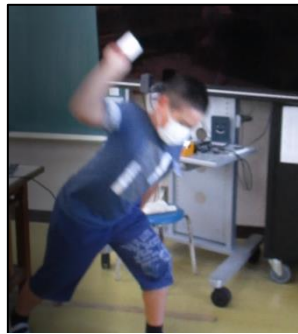


【屋外での取組の様子】

(2) フォームの変容

メンコ遊びをする中で、腕の振りや体全体を使って投げるフォームについて観察を行った。その中で、より強くメンコを投げるために、腕を大きく振りながら投げるようになっていた。

フォームについては、数値での変化で見ることが出来ないため、児童の成長に対する実感が湧きにくい。



【初期の投げるフォーム】



【取組後の投げるフォーム】

5 研究の成果と課題

(1) 成果

- メンコ遊びという昔遊びを行うことで、異学年での交流もあり、児童が楽しみながら、進んで取り組む姿が見られた。
- 大きく腕を振ることや体全体を使って投げることなどの投げ方のコツに気付き、教え合う姿も見られた。

(2) 課題

- 自由に遊ぶことができるため、遊びに来る児童が固定化していたり、来ない児童がいたりする。
- 変容を数値で表すことが難しいため、最後にソフトボール投げの記録を測り、変容を実感させるなどするとよかった。これから対象児童のソフトボール投げを計測し、成果を具体的にしていく。

IV まとめ

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響のため、東諸県郡主催の水泳記録会が中止、陸上記録会が各校開催に変更となった。昨年度実施できなかった陸上記録会を、開催方法を工夫して、各校で実施することができたことは今年度の成果だと考える。しかし、昨年度同様、十分に体力の向上を図ることができなかったと考えている。したがって、東諸県郡小学校体育連盟としては、体育主任中心に、体力向上プランの確実な実施をはじめ、体力の向上を図るための様々な取組を模索し、各校の職員に確実に周知及び実施を促していきたい。